

## 2021年司法試験 合格体験報告会を開催

10月3日、司法試験合格体験報告会をZoomにて開催し、本学法科大学院修了生で、2021年司法試験に合格した竹下健太郎さんと眞中愛さんが出席した。報告会では、合格者2名の合格に至るまでの学習法や試験当日までの対策、試験当日に意識した点などが報告され、質疑が行われた。

眞中さんは出産・育児を経験する中で合格したことから、女性が法曹を目指すうえでの不安や苦勞、それをどう克服したかについて質問があった。眞中さんは、「不安はもちろんあったが、法曹を目指す気持ちを確認することで克服するしかない。育児や家事と勉強とで優先順位を決めて割り切ってやることで乗り越えた」と述べた。

なお、本学法科大学院修了生が終了資格で受験する司法試験は今年度で最後となった。本学法科大学院修了の資格での合格者は、延べ59名。合格体験報告会の資料は、「合格体験記」として11月より大学院事務室で配布している。



10月27日にZoomにて司法試験合格者祝賀会が開催された

## 第47回藤田賞 山田健特任助手が受賞

山田健法律学科特任助手が第47回「藤田賞」を受賞した。今回受賞対象となったのは、同助手執筆の論文「中央-地方関係における出先機関の行動様式—運輸省港湾建設局に着目して」。9月9日、市政会館にて授賞式が執り行われた。

藤田賞は、地方財政学の権威、故藤田武夫立教大学名誉教授、故佐藤進東京大学教授から、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所(旧 東京市政調査会)に寄贈された基金により、地方自治、地方財政および都市問題に関する研究を奨励するため、1974(昭和49)年に設けられた。同賞は、地方行財政に関する分野では、歴史ある賞として認知されている。

参考・公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ



歴史ある賞を受賞した山田特任助手

## 2021年度父母懇談会開催

10月23日、父母懇談会を本学キャンパスでの対面とZoom利用のオンラインの併用で開催した。

午前中はキャンパス見学時間とし、参加者は学生スタッフのガイドによるツアーにてキャンパスを体感した。1年生・2年生の父母および保証人は入学後初めて来学する機会となり、好評であった。また、事前予約した父母は、対面にて個別に相談の機会を得た。

午後1時からの全体会では、山路朝彦学長(父母の会名誉会長)が大学の近況とコロナ対策について報告し、岡田圭子キャリアセンター所長はキャリアセンターの役割を紹介した。

午後2時15分からは学部学科別懇談会が行われ、来学とオンライン参加を合わせて352名が参加し、所属する学部学科の教員が、事前の質問事項を踏まえ、学習面・学生生活の様子や留学・就職情報について説明した。また翌週からは、日本経済新聞社の山野茂樹氏による就職に関する講演と、内定取得学生の就職活動経験談をオンデマンド配信した。



外国語学部英語学科(西棟101教室)の懇談会の様子

## 大邱カトリック大学(韓国)と オンラインによる交流授業を実施

韓国の協定校、大邱(テグ)カトリック大学(DCU)と本学が11月11日、16日、24日にオンライン交流授業を開催した。この交流授業は国際交流センターからの提案をDCUが受けて実現したもの。全3回の交流会にはDCUの日本語日本文学科生延べ54名と一般募集で集まった本学学生延べ45名が参加し、日本語と韓国語を交えた意見交換やフリートーク等を楽しんだ。オンライン授業が可能になったことから、国際交流センターが主催する日韓の学生交流としては過去最多の参加者数となった。

学生からは「イメージや一般的な情報で韓国と日本の違いを認識していたが、実際に話を聞くことで、現実味が増して衝撃を受けた。文字で得る情報より、人から直接聞いた情報の方がより伝わるのだと感じた」「コロナで海外に行けなくなり交流することができずにいたが、参加して互いに交流する楽しさを思い出すことができた」などの感想が寄せられた。

